

第2回教科用図書採択審議委員会

日 時 令和5年7月11日（火）

14:30～16:30

場 所 佐世保市教育センター 中研修室1・2

○事務局 それでは、皆様、こんにちは。定刻となりましたので、ただいまから第2回佐世保市教科用図書採択審議委員会を開催いたします。本日は、大変御多用の中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日の第2回採択審議委員会におきましては、採択審議委員の皆様方に、各教科書会社から発行されております教科書に関し、より深めていただければというふうに思っております。

この後、各担当から各教科書の特長について説明をさせていただきますので、これからの採択の参考にしていただければと存じます。

なお、今後の採択審議委員会の予定について簡単に説明をさせていただきます。7月27日に選定委員会を開催いたします。この選定委員会につきましては、審議委員の皆様は傍聴となります。都合がよければ傍聴していただき、各選定委員会からの報告を参考に、同じ日に開催いたします第3回採択審議委員会におきまして審議をお願いいたします。また、詳細につきましては、この会の後のほうでお知らせをいたします。

さらに、8月8日に開催予定の第4回の採択審議委員会におきまして、教育委員会へ推薦していただく教科書につきまして、審議をしていただくという流れになっております。

それでは、お手元でございます会次第に沿って進行をまいります。

本日は、9名の委員の皆様のご出席でございます。委員の皆様の3分の2以上の出席ということで、佐世保市教科用図書採択審議委員会条例第6条第2項にのっとり、会を開催させていただきます。

本日、大変暑うございますので、クールビズ期間ということでもございますので、もしよろしければ、上着等取られて楽にといいか、涼しく過ごしていただければと思いますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、この後の進行を百津委員長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくをお願いいたします。前のほうをお願いいたします。

○委員長 では、改めまして、皆さん、こんにちは。座って議事進行務めさせていただきます

ます。よろしくお願ひいたします。昨日までの大雨の中で、皆さん方、いかがだったでしょうか。被害等はございませんでしたでしょうか。打って変わって、今日は晴天になりました。早速会を進めてまいりたいと思います。

本日は、今後の採択審議に当たりまして、各発行者から出されております教科書の内容について、採択審議委員会といたしましては、まずは、理解を深めていこうという、そういう趣旨でございます。お手元でございます、教科書が載っておりますけど、学年によって分けてあるようでございますので、それが、審議委員の皆様方の1学年分ということでございますので、私たちが今から見ていくのは、これが全部合わさった分になるということで、後ろのほうにありますけども、この分をとということになりますので、まずは、私たちだけの視点で見てもなかなか状況把握ができないところもございまして、審議委員会として理解を深めるってということで、事務局のほうからそれぞれ教科書につきまして、その特長とかそういうのを上げていただいて、説明をまず聞くところからやっていければなっていうふうに思っております。その後、皆様方からの、事務局のほうへ、いわゆる各教科のスペシャリストの先生方がたくさんいらっしゃいますので、そういう先生方の説明等を確認しながら研究を深めることになると思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。また、先ほど御案内もありましたように、この後、現場のほうの意見等も聞くチャンスもございまして、ぜひ傍聴のほうも併せてお願ひしたいと思ひます。今日も教育委員の皆様もお見えになっておられます。私たちのほうもしっかり公平に審議していきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、事務局のほうから説明のほうをお願ひできますか。

○事務局 失礼いたします。審議委員の皆様の方には、ファイルのほうを用意させていただいております。前回使いました資料、それから本日使用する資料のほうをとじさせていただきます。お手元に、長崎県が作成をいたしました調査資料を挟んでおります。この調査資料は、全ての教科書につきまして、観点ごとに調査した資料になっております。

この調査資料は、第4回の採択審議委員会の後に、また回収させていただきたいと思ひています。それまでは、御自由にメモ等御記入いただいて構いませんが、8月31日までは非公開の資料となっておりますので、取扱いにつきましては、御配慮をお願ひしたいと思ひます。

それでは、教科ごとに各発行者の特に目立った特長について説明をさせていただきます。説明中、分かりにくいところ、見えにくいところなどありましたら、後ほど、教科書を研

究する時間を設けておりますので、そのときに各担当のほうにお尋ねをしていただければと思っております。

また、ファイルの中には、教科ごとのメモをする用紙のほうも用意をしております。それぞれの担当のほうから説明をしていきますので、必要なところ、大事だなと思うところ等は、そういったところがありましたら、御自由にメモを取られて御活用いただければと思っております。国語（書写）・社会（地図）・算数・理科・生活・音楽・図工・家庭・保健・英語・道徳の順番に説明をしていくこととなりますので、よろしく申し上げます。

じゃ、委員長さん、よろしく申し上げます。

○委員長 今、説明がありましたとおり、事務局のほうでメモ用紙のほうを作っていたいておりますので、何か必要なものがありましたらそこで利用していただければと思っております。それから長崎県の教育委員会が作っております令和6年度使用教科書小学校全教科の選定資料というのがございますので、そちらのほうも合わせながら見ていただければと思います。基本、特長を書いたものということになると思います。良くないところが書いてあるというのじゃなくて、こういう特長がありますよということが書いてある分ですので、そういうことで参考にしていただければと思います。事務局のほうにお尋ねなんですけど、これは佐世保市用っていうのは、作成はしてあるんですか。

○事務局 よろしいでしょうか。佐世保市では、教育研究会にお願いをして、作成をいただいております。6月の1か月の間を使って調査資料を作っていただいております。ですので、次の第3回の選定委員会のときに、それについての説明がありますので、傍聴していただいて、またより理解を深めていただければと思っております。

○委員長 ありがとうございます。長崎県の分が今、お手元にある分でございますけども、まあいわゆる長崎県全体の子供たちの状況の流れというところで書かれてあるものでございますので、佐世保市は佐世保市で先生方のほうで作られたものが次の回で出てくるという形になるかというふうに思いますので。それとこの選定資料のほうも、かなり県の指導主事さんとか担当者が苦労を重ねながら、作ったというものでございまして、長崎県を題材としたものを上げなさいとかいうのがありまして、書くんですけども、何もないんですけども、書写の部分は「ひわ」と書いてある。そういったことで一生懸命作られておりますので、血と汗がにじむような努力がございまして、こちらについてもしっかりと読んでいただきますよう、よろしく申し上げます。

それでは、国語から教科書の説明をお願いいたします。

○事務局（国語科担当） 失礼します。国語科につきましては、3者、説明をいたします。

まず、東京書籍です。この教科書は、巻頭に学年に応じた国語の学習の進め方が示されており、これにより、これまで学習したことを生かして学んでいくこと、新しく学んだことが、生活や他教科の学習に生かしていくことといった国語の学習全体の見通しが持てるように示されており、こうしたことで主体的な学びに向かうように工夫されています。また、単元の初めには、各教材の重要指導事項が示されており、教師も児童も単元でつきたい力を意識できるように工夫をされています。さらに大きな特長といたしましては、QRコードが全体的に多く配されており、動画等で具体的に学習の様子を確認したりとか、書き方、ノートの取り方等いろいろ確認したりとか、そういうことをできながら学習ができるように工夫をされています。特にこれまで、前の学年までに習ったことを振り返ることもできることで、基礎・基本の確実な定着というところを意識されている教科書かと思います。

続いて、教育出版です。各単元の「見通しをもとう」では、具体的な学習過程が示されてあるとともに、それぞれの学習過程における児童の反応例がイラスト等で示されています。それにより、考えさせたいポイント、それが明確になっていることで、思考力・判断力・表現力が身につくように構成をされています。イラスト等で対話の流れを示すことで、児童が理解しやすい、また共感しやすいように工夫されていることも大きな特長かと思えます。

最後に、光村図書についてです。この教科書は、単元ごとに、「問いをもとう」と「目標」が設けてありました。児童から単元のめあてとなる問いを引き出す、単元の目標を意識させることで、児童が主体的な学習につなげたり、思考・判断・表現するポイントが明確になるように工夫されていました。そして、単元末には、学びの振り返りにつながる問いがあります。自らの成長を実感するだけではなく、学んだことをこれからどのように生活に生かしていくかという視点が示されているところも大きなこの教科書の特長です。また、QRコード等では、国語辞典の調べ方などが、実際の動画で分かりやすく解説をされているので、こちらも基礎的・基本的な技能が確実に身につくように工夫されている箇所がありました。以上、国語の説明を終わります。

○委員長 ありがとうございます。質問等については、全部終わった後という形でよろしいですか。

それでは、書写についてお願いいたします。

○事務局（書写担当） 失礼いたします。書写につきましては、東京書籍、教育出版、光村図書の3者から教科書が出されています。

まずは、共通した特長、次に各者ごとのポイントとして御説明をさせていただきます。

共通した特長といたしましては、各学年1冊ずつで構成をされています。教科書の大きさも子供たちが机の上で習字道具を出したときに邪魔にならない程よいサイズ感でございます。書写の課題のページにQRコードが示してあり、1分程度の動画が見られるなど、指導者の毛筆技能に左右されることなく授業中に端末を活用できるように工夫がなされています。

各者ごとのポイントとしましては、東京書籍については、教材ごとに「どこを直すと整うだろう」というような問いが出されており、思考を伴いながら書写の実技練習ができるよう配慮されています。

教育出版については、運筆や字形のポイントを写真や色分けで示すだけでなく、単元末に学習したことを活用する「レッツトライ」のコーナーがあり、実生活や他教科の学習で生かしやすい構成となっています。

最後に、光村図書です。こちらは、写真やイラストが豊富で、学ぶ内容が視覚的に捉えやすく、他教科の学びに生かせるよう、活用例が多く示されています。また、小学校第1学年の教科書には、書写体操のコーナーがあり、筆記用具の持ち方が習慣として身につくよう工夫がなされています。以上です。

○委員長 ありがとうございます。

次に、社会科をお願いします。

○事務局（社会科担当） 社会科、3者の教科書について説明いたします。

まず、東京書籍です。東京書籍だけは、5年生上下巻、6年生は歴史編と政治・国際編と、高学年は2冊の構成となっております。1単位時間の内容を1見開きで示すことを基本としてあり、学習過程や本時のめあて「学習課題」などが大きく、見やすく示してあるので、どの段階を学んでいるのか意識しながら社会科で大切な問題解決的な学習を進めることができます。社会的な見方、考え方を働かせる場面では、ドラえもんが重要なポイントを示すようになっており、児童にそれらの力を意識させるような工夫がされています。5年生の工業生産の「ひろげる」の場面では、長崎市の造船業を取り上げ、発展的な学習とともに本県の主要産業であることに気づくことができます。また、6年生の歴史編においては、鎖国や原爆の単元にて、本県の歴史的に果たしてきた役割や影響について気づく

ことができるようになっております。ちなみに、平和記念像は、歴史教科書の裏表紙にも掲載されるようになっております。

続きまして、教育出版の教科書です。本時の学習の最後の場面で、次につなげようを掲載し、問いを次の時間につなげることで、単元を通して問題解決的な学習に取り組むことができるよう工夫されています。6年歴史の単元では、AI技術により、白黒写真をカラー化して提示してあったり、政治の単元の導入において、「東京2020オリンピック・パラリンピック」を題材にしたりするなど、児童の興味・関心を高める工夫がされています。教育出版の二次元コードにはマークがついていて、動画、ワークシート、クイズ等が、一目で分かるような工夫がされています。5年の自然災害の学習では、島原市等の火山災害の対応や取組が紹介され、その重要性を身近なこととして考える内容となっています。6年の戦争の単元では、本県の若い世代の語り部活動が紹介され、持続可能な平和社会の実現について考えることができる内容となっています。

最後に、日本文教出版です。日本文教出版は、SDGsに力を入れております。単元の各場面において「考えよう！SDGsコーナー」の設定、単元末には特設ページ「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」の設定などSDGsを自分事として考え、よりよい社会の形成に参画し、自分の役割や責任を果たしていこうとする態度を育成する工夫がなされています。ページの下部には、脚注、インデックスを設定してあり、本時に身につける力を意識しながら進めることができるよう工夫されています。交流場面も随所に設定してあり、漫画の中でキャラクターが具体的な交流の仕方を説明してくれるので、対話的で深い学びへとつなげることができるよう工夫されています。4年生の地域の学習では、本県の伝統行事や黒島天主堂などの建造物とそれらの保存に関わる取組を単元を通して紹介してあり、地域の人々の思いや願いを身近に感じながら学習を進めることができます。以上で、社会科の説明を終わります。

○委員長 ありがとうございました。

次は地図をお願いします。

○事務局（地図担当） 失礼します。地図帳は、東京書籍と帝国書院の2者です。

それでは、東京書籍の地図帳について説明いたします。まず、導入部分についてです。様々なキャラクターを用いて、地図帳の使い方が説明してあり、児童の関心・意欲を引き出す工夫がなされております。次に、使用されている文字についてです。ユニバーサルデザインの書体で大きめに表示してあります。また、反射を抑えた用紙が使用してあるため、

見やすく、書き込みもしやすくなっております。次に、地図帳全体についてです。「ポップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」というコーナーが掲載されております。地図帳を活用しながら取り組むクイズや作業が70点掲載されておまして、地図に対する関心・意欲が高まるように工夫されております。最後に、巻末部分についてです。資料や統計が掲載されているほか、索引のページにはチェック欄があり、自分が調べたところを確認できるようになっております。また、日本の自然災害について、写真や防災マップが掲載されており、地域の防災について、関心や理解が深められる構成になっております。

次に、帝国書院の地図帳について説明いたします。導入部分についてです。「地図の約束」や「地図帳の使い方」について、14ページにわたり掲載されていて、初めて地図帳を使う子供たちもスムーズに使うことができるよう配慮されております。次に、使用されている文字についてです。ユニバーサルデザインの独自開発の書体が使われていて、正確に表現されております。また、地図の色が明るく鮮明なため、都市名など見やすくなっております。次に、地図帳全体についてです。初めて地図を使う3年生でも見やすい広く見渡す地図と、4年生以上の学習に対応した詳しい地図があり、学年や習熟度に応じて使い分けができるようになっております。また、初めて地図帳を使う子供向けの「トライ」というコーナーに11問、4年生以上の学習に対応した「地図マスターへの道」というコーナーに全100問の問題が掲載してあり、主体的に学びを進めることができるよう工夫されております。最後に、巻末の分についてです。自然・防災・産業・貿易など幅広いテーマの資料が22ページにわたって掲載されております。地図と比較しながら考察するように工夫されております。ほかにも、手話で都道府県名を表現する紹介、SDGsについてなどが掲載され、多様な考え方を育むことができるよう配慮されております。

また、2者ともに共通いたしまして、QRコードが各所に配置してあり、多様なコンテンツを用いて、主体的に学ぶ配慮がなされております。以上で地図帳に関する説明を終わります。

○委員長 ありがとうございます。

次は算数をお願いします。

○事務局（算数科担当） 失礼いたします。算数です。算数は東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教出版、6者から出されております。各者の多々ある特長の中から、特長を2つに絞って御説明をさせていただきます。

まず、1者目、東京書籍です。1つ目の特長としまして、単元の途中で学習の振り返り

を行う問題を配置してあり、さらに単元の終わりでは「たしかめよう」のように学習の振り返りを行う活動が取り組める構成になっております。そのことで基礎的・基本的な知識技能の習得が図れるように工夫されています。2つ目の特長です。2年生以上に設けられています「今日の深い学び」という教材が入っております。この教材で問題解決の流れを助けるガイド表示というものが入っておりますので、それを見ながら子供たちは主体的・対話的に学習を行うことができる教科書となっております。

続いて、2者目、大日本図書です。1つ目の特長です。各ページの左端に1時間の学習ごとで使う「問題をつかもう」「自分で考えよう」「学び合おう」などの学習の流れを示されております。このことで、子供たちは学習活動を分かりやすく捉えることができ、流れを意識した学びを進めることができると考えています。2つ目の特長です。2年生以上は学年で1冊となっています。そのことで前の学年におけるポイントが掲載されていたり、1年の振り返りが1冊の教科書の中で見取ることができるという構成がされております。

3者目、学校図書です。1つ目の特長は、6年生において、「中学校へのかけ橋」という別冊の教科書が設けられております。この別冊では、「算数で見つけた見方や考え方」という内容と「中学校へのかけ橋」という内容で、小学校の復習と中学校への円滑な移行を取り組める内容に配置されています。2つ目の特長です。ページの下の部分に吹き出しが入っております。その吹き出し内容で子供たちの興味・関心を続けさせることができるように配慮されています。また、単元末では、できるようになったことと、今後につなげることなどが同様に示されており、学びを連続して捉えることができるように配慮されています。

4者目、教育出版です。1つ目は、単元の中で、学習課題に対して「はてな」「なるほど」「だったら？」というような連続性を示されています。子供たちが主体的に学習に取り組むよう工夫されています。2つ目の特長です。学年の最初に行う学習として、1年生ではスタートカリキュラム、2年生から6年生では、「算数が好きになるはじめの一步」という内容がつくられております。算数の楽しさをまず実感して進められるように配慮されています。

5者目、啓林館です。1学期の途中、学期の終わりに復習問題が設けられておりますので、反復学習を行えるよう配慮されています。2つ目の特長です。各学年の最後には、学年のまとめが設けられていますが、特にこの啓林館では6年生において、6領域のチャート図

で自己評価ができるようになっていきます。

最後に、6者目、日本文教出版です。1つ目の特長は、単元末に「学習をたしかに」「次の学習のために」という内容を設けられていて、基礎的・基本的な育成が図られるように工夫されています。2つ目です。最後の「算数ジャンプ」という最後の単元が設けられております。これによって、算数だけではなく、ほかの教科や日常生活とも関連づけた内容が組み込まれて算数を学ぶことができるように工夫されております。以上、6者の説明を終わります。

○委員長 ありがとうございます。

次に、理科のほうをお願いいたします。

○事務局（理科担当） 失礼します。理科は5者ございます。

東京書籍の特長を申し上げます。どの単元の初めにも、表紙と一つながりの大きな写真と簡潔なメッセージを掲載することで、自然への興味・関心を高められるよう工夫されています。また、「問題をつかむ」「調べる」「まとめる」「注目する」「振り返る」という基本的な学習の流れを示すことで、基礎的・基本的な知識・技能が習得されるよう工夫されております。単元の終わりには、「広げよう！理科の発想」や「理科の世界 探検部」を設定し、学習に関連した資料を提示することで、日常生活との関連を図るよう工夫されています。

続いて、大日本図書の特長を申し上げます。どの単元でも、初めの見開きに単元に関わる理科的な考え方を意識するきっかけとなる漫画を掲載し、自然への興味・関心を高められるよう工夫されてます。また、問題解決の過程を「みつけよう」「調べよう」「伝えよう」に分けて構成した「理科の学び方」を示すことで、基礎的・基本的な技能・知識が習得されるよう工夫されてます。単元の終わりに、「りかのたまてばこ」や「サイエンスワールド」を設定し、学習に関連した資料を提示することで、日常生活との関連を理解できるよう工夫されています。

続いて、学校図書の特長を申し上げます。どの単元の導入部分にも、活動や自然の大きな写真とともにキャラクターが話し合う場面を掲載し、自然への興味・関心を高められるよう工夫されています。また、各単元の「できるようになりたい」で、見通しを持たせ、単元末の「できるようになった」で、振り返りをするという学習の流れを示すことで、基礎的・基本的な知識・技能が習得されるよう工夫されています。単元の終わりに、「もっとしりたい」を設定し、学んだことが生活の中に生かされることを紹介することで、日常

生活との関わりをより深められるよう工夫されています。

続いて、教育出版の特長を申し上げます。教科書の表紙に子供が主体的・協働的に活動する姿を掲載したり、巻末に自然の学びに関するメッセージを記載したりすることで、自然への興味・関心を高められるよう工夫されています。また、見通しを持ちながら主体的に学習できるよう「見つけよう」「予想しよう」など、8段階の「学習の進め方」を示すことで、基礎的・基本的な知識・技能が習得されるよう工夫されています。単元の終わりに、「科学のまど」を設定し、学習に関連した資料を提示することで、日常生活との関連を理解できるよう工夫されています。

最後に、啓林館の特長を申し上げます。教科書の表紙の裏に、各学年の学びに関する写真を見開きで掲載するとともに、学習についてのメッセージを記載することで、自然への興味・関心を高められるよう工夫されています。また、問題解決の過程を「見つける・調べる・まとめる」の3段階の「学びのサイクル」といった学習の流れを示すことで、基礎的・基本的な知識・技能を習得されるよう工夫されています。単元の終わりに、理科を学ぶ意義や有用性を実感させる「くらしとリンク」を設定することで、学んだことと日常生活との関連を図れるよう工夫されています。以上で、理科の説明を終わります。

○委員長 ありがとうございます。次、生活科をお願いします。

○事務局（生活科担当） 失礼します。小学校1、2年生が使用する生活科を6者、紹介いたします。

1者目は、東京書籍です。表情豊かな挿絵で意欲を高めるよう構成されています。また、吹き出しから活動例を示し主体的に取り組むことができ、分析的に考えることで思考力を高めようと工夫されています。特長として、図鑑や保護者へのメッセージを掲載されており、デジタルコンテンツの教材が目次からスタートされており、ほかの内容にも興味を持って見ることもできますものとなっています。

2者目は、大日本図書です。漢字だけでなく、片仮名にも振り仮名が打たれており、読みやすくされています。また、各見開きに大きな字ではっきりと課題提示がされています。校内はもとより、家庭、地域、公園、商店街など多様な学習場面の設定で、人や場所の役割に気づきやすい配慮がされています。

3者目は、学校図書です。良質な紙で印刷され、写真を豊富に掲載されています。その写真は、生き生きと活動する児童の姿が多くあり、学習意欲を引き出す工夫をされています。また、学習カードへの記録活動を通して、表現力を高めたり、単元末で振り返りがで

きるようにされています。

4者目は、教育出版です。写真や挿絵、デジタルコンテンツが豊富で、基礎・基本を身につけることができます。学習のめあてを6つの力でまとめてあり、さいころの枠組みで明示されています。「学びポケット」では、生活での学びを各教科等の内容で整理することで、各教科での学習に生かすことができるよう工夫されています。

5者目は、光村図書です。「ひろがるせかいずかん」を別冊で収録されており、必要なときに使えるように配慮されています。また、季節ごとの動植物の写真カードを切り取って使え、本物と見比べながら観察できるように配慮されていました。

6者目は、啓林館です。この6者の中で、教科書のサイズが小さくて、一番軽いものになっており、小学校1、2年生にも持ちやすい大きさとなっています。学習内容とのつながりがあるページが何ページにあるかっていうのも記載されており、振り返りや次のステップへのつながり、ここが分かりやすいものとなっています。簡単ですが、以上です。

○委員長 ありがとうございます。

次、音楽をお願いします。

○事務局（音楽科担当） 失礼します。音楽です。音楽は2者になっております。

1者目、教育出版です。教育出版の特長として、「学習のめあて」や「まなびナビ」などを示してあり、子供が見通しを持って学習を進めることができるように工夫されています。音楽を聴きながら合わせて体を動かすことで、曲を理解すること。音の高さに合わせて手を動かし、旋律の流れを理解する工夫がされています。折り込みを使ったワイドな紙面で、歌詞に忠実な写真が用いられています。鍵盤ハーモニカやリコーダーの導入期は、1音1音の出し方を丁寧に扱っています。鍵盤の写真を下部に配置して、机上に鍵盤ハーモニカを広げたときも比べて見やすくなるように工夫されています。3年生以上は、運指表が折り込みになっており、広げると楽譜を開いたままでも確認ができるように工夫されています。

次に、2者目、教育芸術社です。吹き出しを示して学習のめあてやヒントを示し、主体的な学びができるように配慮されています。各題材で取り扱う教材曲ごとに狙いを明確に示すことで、表現及び鑑賞の活動を関連づけて学習を進めることができるように配慮されています。紙面のページの端に共通事項の内容が示されてあることで、検索をしたり振り返りをしたりするときにしやすくなっています。楽しく遊びながらリズム打ちをすることができる活動を取り入れるなど、対話的な学びが自然と生まれるように配慮されています。

互いのパートをよく聴き合って合唱できるよう、協働的な学習に配慮されています。

両者、教育出版、教育芸術社とも、ICT機器が活用できるように二次元コードがあって、インターネットを使って動画や資料が検索できるようになっていました。

音楽については、以上です。

○委員長 ありがとうございました。

次に、図工をお願いします。

○事務局（図画工作科担当） 失礼します。図画工作科の教科書は2者となります。開隆堂と日本文教出版でございます。

まず、開隆堂の教科書からお伝えいたします。児童に育成したい資質や能力に対応した学習の3つのめあてを児童に分かりやすく整理して、それぞれに楽しいキャラクターマークで表しております。「学習のめあて」を各題材に明示するとともに、重点的に育成を図りたい資質・能力には朱書き下線部で強調示しております。題材のページでは、題材名の上には題材で使う主な用具や材料を明示されており、授業の準備や持ち物の確認に役立つように工夫されております。ページの下段には、授業の流れに沿って必要な知識や手順などをまとめております。QRコードのコンテンツにて「ふりかえりシート」があり、より深く学習の成果を確認することができるように工夫されております。また、各題材には図画工作の学習と他の教科や学校生活で関連づけるヒントとして教科名が示され、教科横断的な学習の参考となるよう工夫されております。インクルーシブ教育への配慮の面からも、書体は全て読み取りやすいユニバーサルデザインフォントを使用し、単語や文節の途中で改行せずに読みやすいようにレイアウトするとともに、当該学年以降で習う漢字には全て振り仮名をつけております。

続きまして、日本文教出版の教科書です。ページ上段に対応した資質・能力の3つの柱に対応しためあてで、その題材で何を学ぶのかが分かるように表示されております。表現のヒントとして、発想を広げる方法など特に大切なめあてと関連させて具体的な手だてを示しています。鑑賞のヒントとして、掲載作品のどこに着目するとよいかを示しており、学級で作品を鑑賞し合うときに投げかけ、対話的な学びに配慮されております。あわせて、活動中の対話を呼びかけたり、アートカードなど様々な鑑賞方法を紹介したりして、協働的な学びを促す工夫をしております。幼児期との接続ページから中学校との接続ページまで示されており、児童の学びが未来につながるように構成を工夫されております。また、タブレットマークや二次元コードから用具の使い方動画、作品ギャラリー、360度鑑賞

作品、作家インタビューなど、豊富なデジタルコンテンツがあり、ICTを活用した学習の配慮があります。題材のページについて、他の教科やSDGsなどとのつながりにも触れており、学習が広がるように配慮されています。

以上で、2者の説明を終わります。

○委員長 ありがとうございました。

次、家庭科をお願いします。

○事務局（家庭科担当） 失礼します。家庭科は東京書籍、開隆堂の2者になります。どちらも、5年生、6年生で1冊の教科書になります。それぞれの特長を2つと、2者に共通している特長2つについてお話しいたします。

まず、東京書籍です。特長1つ目として、教科書の巻末に「いつも確かめよう」のコーナーが設定されています。これは、調理や裁縫など学習内容に関連する事柄が手順に沿って示されており、5、6年、2年間を通していつでも振り返ることができるため、基礎的・基本的な知識が確実に習得されるよう工夫されています。2つ目です。他教科や他学年、または中学校の学習内容などとの関連を示すマークがついております。例えば、涼しく暮らす工夫のところには、3年生理科の太陽と気温の単元や、6年生の保健体育、体の仕組みなどといった関連する学年等が書いてあるため、発展的・系統的な学習ができるように工夫されています。

次に、開隆堂です。特長1つ目は、簡単なものから難しいものへと学習が系統的にできるよう、内容が工夫されています。題材を細かく構成・配列することで、スモールステップで学習が積み上げられるようになっています。次に、多様性の配慮です。様々な年代や国籍の人を登場人物とすることで、異なる文化的背景を持つ人々と協働しつつ、社会の変化に主体的に関わるための資質・能力を育むことができるように工夫されています。

最後に、2者に共通している特長2つです。1つ目は、二次元コードが多く配置されていて、デジタルコンテンツと学習活動の一体化がなされているという点です。2点目は、どちらの教科書にも、単元ごとに学習内容と密接につながる職業の方のインタビューが掲載されています。東京書籍には、「プロに聞く」というコーナー、開隆堂には、「キャリアインタビュー」というコーナーが掲載され、自分の生活が様々な仕事に支えられていることに気づけるような仕組みになっています。以上です。

○委員長 ありがとうございました。

保健体育をお願いします。

○事務局（保健体育科担当） 失礼します。保健については、6者になります。前のスライドを御覧いただきながら御説明をさせていただきます。共通事項としましては、教科書に直接書き込めるスペースを設けていること、QRコードから補足となる資料・動画での説明にアクセスできること、環境に配慮した紙・インキを使用していることが上げられます。

東京書籍です。記入スペースが豊富につくられており、ノートを兼ねた教科書となっております。学習のステップとして、まず課題が提示され、調べる、解決する、次に深める・伝える、最後にまとめる・生かすの4ステップで、授業者も流れをつかみやすくなっております。挿絵のキャラクターですが、多様性に配慮した写真、またイラストが用いられています。

次に、大日本図書です。文字数が多く情報量が充実しております。こちらは、まずつかもうに直接記載をさせることで、ここで学ぶことを主体的に意識させ、考えよう・調べよう・話し合おうにより学習を深め、最後に生かそうでまとめる4ステップとなっております。また単元ごとに記述式の学習の振り返りチェックがあり、定着を図る工夫がされています。視覚に特性を持つ児童を考慮した配色への配慮がされています。

次に、大修館です。こちらはまず、今日の課題から、話し合おう・調べよう・考えよう続き、まとめとシンプルな学習過程で指導者も使用しやすいものとなっております。6年生の単元のけがの防止・病気の予防では、熊本の豪雨災害や新型コロナウイルス感染症を取り上げ、近年の話題に即した内容を盛り込んでいます。

次に、文教社です。本時の学習活動がステージ1、ステージ2という記載になっており、学習の見通しをつかみやすい工夫がされています。比較的文章量が多く、情報が充実しています。写真・挿絵が豊富であり、特に写真を多用しております。地域での安全の事例を多数取り上げており、身近な生活での安全を考える内容の工夫がなされています。

次に、光文書院です。単元初めに児童の親しみやすい漫画を用い、課題をつかむような工夫がされています。ほぼ全ての単元において見開き1ページの構成で、学習の流れが分かりやすいレイアウトとなっております。文字数が多く、情報量が充実しています。単元の最後に、広げよう・深めようのコーナーがあり、より専門的かつ発展的な内容についての記載がされています。

最後に、学研になります。文章は簡潔にまとめられており、写真・イラストで視覚的にすっきりと分かりやすく構成されています。1時間単位4ページで余裕のある構成がなさ

れています。各時間の最後に、発展的な学習コーナーとして「ほけんの箱」があり、科学的な理解を深めるコーナーである「かがくの目」のコーナーなどによって、学びを深める工夫がなされています。

以上、保健6者の説明を終了します。

○委員長 ありがとうございました。

次に、外国語をお願いします。

○事務局（外国語科担当） 失礼いたします。外国語・英語です。6者発行されております。まず初めに、6者のうち数者において共通していることをお伝えさせていただいて、その後、各者ごとの特長をお伝えさせていただきます。

まず、最初に、別冊としてイラスト付きの単語集が設定されておりますのが、東京書籍、開隆堂、三省堂、光村図書でございます。また、各学期において学んだことを思考・判断・表現しながら、自らの考えや思いを伝える活動が設定されている、いわゆるパフォーマンステストというものが記載されております、載っておりますのが、開隆堂、三省堂、光村図書、啓林館となります。

ここからは、各者ごとの特長をお伝えさせていただきます。まずは、東京書籍です。東京書籍では、各学年ごとにテーマ別に単元構成がなされております。5年生では、自分に関すること、地域、それから日本。6年生では、世界の国々、世界と日本、中学校への扉というように構成されております。

開隆堂につきましては、各ユニットごとに単元内の目安の指導時数が示されております。今日はこの第2時目、第3時目というような流れが示されておりますので、教師、児童とともに確認をしながら進めることができるかと思えます。

三省堂につきましては、児童が日本語でなれ親しんだことのある世界の物語を漫画風に再構成されており、イラストを参考にしながら英語で話の内容を理解する活動が含まれております。

教育出版につきましては、先ほど申し上げた言語活動の設定に一工夫されておまして、児童が思わず言いたくなる、やってみたくなるような教材や活動が用意されております。

光村図書については、各ユニットをホップ、ステップ、ジャンプというふうに表示をされておりますので、児童とともに確認しながら進めることができます。

啓林館につきましては、多様な文化や考えに触れるきっかけとなるようなイラストや映像がちりばめられております。例えば、国際理解に関することですか、SDGs、ジェ

ンダーに関すること等の内容が多く含まれております。

6者全てにおいてデジタル教科書がありますので、歌でありますとか音声・動画がコンテンツとして含まれております。以上です。

○委員長 ありがとうございます。

最後になります、道徳、お願いいたします。

○事務局（道徳科担当） 失礼します。最後、道徳です。道徳は6者あります。

まず、構成ですが、全学年1冊ずつですが、4者目の日本文教出版、これだけが道徳ノート、これがついております。

次に、特長についてです。特に目立った特長を1つずつ紹介していきます。

まず、1者目、東京書籍です。それぞれの読み物資料の後についている、「つながる・広がる」のコーナーを効果的に配置することで、発達の段階に即して学習や生活につなげることができるよう配慮されています。

2者目、教育出版です。全学年を通して、教材内容を分かりやすい表現にして無理なく学習できるようにすることで、考え、議論する時間が十分に取れるよう配慮されています。

3者目、光村図書です。「考えよう・話し合おう」のコーナーを使って、その資料について主人公だけでなく他者の立場からも考えさせることで、多面的・多角的に考えられるよう配慮されています。

4者目、日本文教出版です。「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」のコーナーを設け、別冊のノートに自分の考えを記述できるようにすることで、よりその時間の狙いに迫ることができるよう配慮されています。

5つ目、光文書院です。本県にゆかりのある人物を紹介することで、関心を高められるよう配慮されています。例えば、3年生の教科書では体操の内村航平選手、6年生の教科書では歌手のM I S I Aさんが取り上げられています。

6者目、学研です。「深めよう」「心のパスポート」のコーナーを設けることで、道徳的価値を自分との関わりで考え、問題解決的な学習や体験的な学習に取り組むことができるよう配慮されています。以上です。

○委員長 ありがとうございます。以上13種目ですね。

ありがとうございます。本当に主幹さん、副主幹さん、主査さんたちが膨大な教科書をしっかりと読み込んでいただいて、特長等つかんでいただいて、御報告していただいたことに、まずもって感謝したいと思います。ありがとうございます。

私たちのほうもメモは取ってはいるんですけども、なかなか取りきれなかった部分もあると思いますので、これから各教科書の内容を研究して検討していく時間帯を取りたいと思うんですけども、各担当の先生方は教科書各教科のところに来ていただければと思いますので、でき得れば、先ほど御説明をしていただいたところを具体的に、教科書等で示していただきながらお話をさせていただければ、よりこういうところの特長があるよという部分が分かるのかなというふうにも思いますので、ぜひそういう形を取っていただければというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

若干、時間がかかるとも思うんですけども、各教科等を見ていただきながら説明を聞いていただければなというふうに思っておりますので、随時ということで、目安としては事務局のほうからは、16時10分、4時10分ぐらいを目安にということで、お話を得ておりますので、その時間帯で40分ほどになりますが、やっていきたいと思っております。多分、皆さんお気づきになってるのはあるのかなと思うんですけども、前回の話し合いというか、会の中でいわゆる2者から3者をフラットで上げるってというようなことで話を、教育委員さん方のほうには2から3ぐらいを選定して、フラットで上げていくっていう形ではなかったかというふうに記憶しておるんですけども、よくよく見ていただければ3者、2者って教科書等がございますので、そういう意味ではそのまま上げていって、あとは教育委員さん方の判断にお任せするという形にもなるのかなと思うんですけど、それもあまり私たちそれでは無責任かなっていうふうに思いますので、その付近も考えながらという形に今後なっていくのかなと思います。特に、算数、理科、生活、保健体育、外国語、道徳っていうのが、6者ずつぐらいございますので、ここはもう大いに議論をしていく必要があるのかなというふうに思っているんですけど、併せてお願いをしたいと思っております。校長先生方、あるいは教員の先生方もいらっしゃると思いますので、特にそういう御専門をお持ちの先生方につきましては、特にそういうところを見ていただければなというふうに思っております。

それと、見ていただく視点としては子供がどれだけ理解できるか、教科書は全て検定として教科書は検定教科書で通っておりますので、どの教科書を選択しても別に大きな問題にはならないということなんですけれども、要は佐世保市の子供にとって一番いい教科書はどれなのかっていうのが大きな判断の基準になってくるんだらうっていうふうに思っております。ですので、この後、あるいは次の機会にでも佐世保市の子供たちの学習状況がどうなのか、全国学力状況調査等々見ても厳しい数値が並んでおるようなところでもござ

いますけども、そういう意味でもどうなのかっていうことも判断の一つだと思いますし、あと単にその学習状況が非常に厳しいっていうことの大きな一つはやはり先生方の指導をする際に、一番使いやすそうな、あるいはめあてとかしっかりしたような、そういうような教科書等になってくるのかなと思いますので、佐世保市の子供たちでどの教科書が一番適切なのか、そういう基準の中で見ていただければと思いますので、今から御自由に見ていただくようになるかと思っておりますので、事務局、そういった形でよろしいでしょうか。

○事務局 はい。委員の皆様のお手元にタブレットのほうもありますので、QRコードも実際に見ていただき、勉強していただければと思っておりますので、そちらのほうもよろしくお願ひします。

○委員長 それでは、よろしくお願ひいたします。皆さん委員さんなどもメモを取られて、ちょっとこの教科についてはもうちょっと具体的に気になるなっていうなところから始めていただければと思います。時間といたしましては16時10分を目安にっていうことで、効率的に見ていただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

〔教科書研究〕

○委員長 では、事務局のほうからの説明をしていただいた後に、実際に各教科書のほうを見ていただきました。先般、説明をいただきまして、皆さん一生懸命メモを取っていたと思うんですけど、なかなかそれが取りにくかったりとか、あるいは聞き漏らしたりとかいう分があるのかなというふうに感じておりました、でき得れば、先ほど事務局のほうから説明をしていただいた部分の読み原稿でもいいんですけどもっていうことで、まとめたものがあればというお話をしたら、事務局のほうはあるということでございましたので、次の会るときにでも、それも一つ大きな私たちが選定をしていく部分で、いわゆるプロの目を見ていただいた部分でございますので、その特長をかなり入念に見ていただいているなというふうに感じておりましたので、その分の資料も、次の会るときにでも私たちのほうに示していただければなとは思っておるんですけど、事務局はいかがでしょうか。

○事務局 大丈夫です。

○委員長 用意はできますでしょうか。

○事務局 はい。準備はできますので、次のときにはできるようにしたいと思っております。

○委員長 すみません、よろしくお願ひいたします。それも見ながらまた改めてという形になるのかなと思いますし、また、今度はいわゆる現場のほうの先生方のほうからの調査、あるいは選定の部分とか出てくると思っておりますので、それと併せて見ていながら選定をし

ていくような形を取ればなと思います。一応、皆様方にはそういう形で今、事務局のほうから説明があった部分について、資料を提供させていただこうかというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次に質疑に入りたいと思いますけども、今回の部分等々に合わせてですけど、何か御質問とかございましたらお聞きしたいと思いますけれども、大丈夫でしょうか。次の会議のときには併せて、現場のほうからの意見もあがってくるかなと思います。

○委員 すみません、学校の先生方は説明するプロだと思ってるんですけど、子供たちに伝えるプロだと思うんですけど、よく分からなかったところはお父さんこれどがんことって持ってくるのが教科書だと思うんですよ。私たちPTAがどういった立ち位置でこの審議会に携わればいいのか、ちょっと見えてないところもあるんですけど、こういったことを意見していけばいいんでしょうか。何かを、どういう役割を担っているのかっていうところがぴんときていないところがありまして、すみません、ぼやけた質問ですけども。

○委員長 ありがとうございます。私のほうからでいいですか。

○事務局 よろしくお願ひします。

○委員長 ここには、例えば小学校の校長先生方がいらっしゃいます。また、大学の先生方もいらっしゃって、あとは健全育成とかいろんな形の方々がいらっしゃいます。それと、PTAと保護者代表ということですので、もうそういう意味では、例えば、英語のプロフェッショナルだったり、数学のプロフェッショナルの小学校の先生だったりとか。そういう視点で、教科的などところで見ていく部分でそういう委員さんたちが見ていかれると思いますので、いわゆる保護者として、あるいはさっき言ったように、お子さんが分からんとこあったよって来たときにやってみて、そこで説明がしやすかったりとか、ここを読めば分かるんじゃないとかいう形であるとか、そういう視点で見ただけであればよろしいのかなと思います。いわゆる保護者の視点でというところですね。

○委員 ありがとうございます。

○委員長 事務局、それでよろしいでしょうか。また付け加えがあればお願いします。

○事務局 最近はランドセルの大きさもA4のファイル、プリントを挟んだファイルが入るようになってるんですけども、例えば大きさとか重さとか、そういった観点からも見ていただくのも一つの視点かなと思います。例えば1年生が保護者の方からランドセルが重いですというふうなのを聞いたときに、抱えてみたら、すごくやっぱり重たいなというのを感じました。だから、その保護者の方の目線で、その教科書の教え方っていうのは当然、

教師目線なので、保護者の方が見られて、先ほども百津委員長言われたように、親として見たときに子供と一緒に考えたりとか、そういった視点として見ていただけると大変ありがたく存じます。以上です。

○委員長 大体、小学生のランドセルも9キロぐらいといいます。シューズとかも習字道具、絵の具道具などもあり、そういう視点も併せて見ていただければと思いますし、保護者目線でいわゆる印刷の状況といいますか、これ分かりやすいよねとか、色のつけ具合とか、こういうような状況でもいいのかもかもしれません。ちょっとこれ派手すぎとか薄い色だねみたいなこととか、ユニバーサルカラーとかいうのもありますし、またもうこの頃は紙質っていうのはもうほとんど変わらないんでしょうけども、そういうのもまた印刷も大豆を扱ったりしていたり、あと地球に優しいとかいうのもあります。そういう視点で、大きな視点の中で見ていただければなと思います。

ほかには何かございませんでしょうか。

そしたら、あとはちょっとまた私のほうで事務局と相談したいっていうのは、先ほど言いましたけど、いわゆる3者フラットでという形になったときに、3者あるいは2者しかない部分は、もうここでのいわゆる協議のとか、ここでの話合いのステージには載せなくていいものなのかどうかっていうのもあるのかなと思いますので、そういう面につきましては、また事務局と相談の中で、次の会まで皆さん協力していただけたらと思います。

○事務局 選定委員会から上がってきたそれぞれの特長もあると思いますし、ここの審議委員さんたちの目を見ていただいた特長というのがあると思います。あくまで、選定委員会のは参考として見ていただいて、ここの審議委員さんの目で見えた特長というのをを出していただいてっていうところが、とても大切なことだと思いますので、ぜひお願いできればと思っております。

○委員長 ということでございますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

2者、3者の部分についても、ある程度、審議をして特長とかいろんなもの等については、教育委員さんのほうにお話ができるような形で審議してもらえればなと思います。

ほかには何かございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

では、一応、本日の審議はこれで閉じてよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

では、事務局にお渡しします。

○事務局 ありがとうございます。第3回の佐世保市教科用図書採択審議委員会を7月

の27日の木曜日、13時から15時で、会場のほうはこちらのほうじゃなくて、西地区コミュニティセンターのほうで開催をいたしたいと思っておりますので、また御出席のほうよろしくお願ひしたいと思ひます。

また、あわせて同じ日、27日木曜日の朝の9時から12時まで、選定委員会を同じ場所の西地区コミュニティセンターのほうで開催をいたしますので、傍聴していただき審議の参考としていただきたいと思ひしております。なお、先ほど説明いたしました、配付しております資料をお持ち帰りになり研究されることは構いませんけども、非公開資料でございますので、取扱いには十分に御配慮をお願いしたいと思ひしております。

本日は、会の終了後も、ほんの僅かですけども教科書のほう、もう少し見たいということで閲覧していただくようにしておりますので、もしお時間があられるようでしたら御自由に御覧いただければと思ひしております。

事務局からは以上になります。

○委員長 ありがとうございます。今、御案内がありましたとおり、7月の27日の9時から西地区のコミュニティセンターのほうで教科書選定のほうの現場からの御意見もございますので、これについては傍聴可能であるということでございますので、お時間があられる方、場合には27日の9時から、西地区ですので、御船町になりますね。（「金比良町」と呼ぶ者あり）金比良町ですかね。光海中学校の上っていうか、こちらのほうになります。本会議も同じ場所で13時よりっていうことで行いますので、お時間を合わせてよろしくお願ひいたします。

少し教科書等も置いてあるっていうことでございますので、時間があれば見ていただければと思ひますので、よろしくお願ひします。

では、一応閉じてよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、どうもお疲れさまでした。ありがとうございます。